

特定非営利活動法人 安全工学会 発行

安全工学

安全工学会の概要

特定非営利活動法人安全工学会（英：Japan Society for Safety Engineering, 略称「JSSE」）は、主として産業に係わる安全の諸問題を広く工学的に調査・研究し、各種災害の防止のための知識・技術の向上及び普及を図ることにより、産業及び学術の発展並びに社会の安心・安全の獲得に貢献することを目的に設立されました。

安全工学会では、本邦において、各種産業における火災、爆発、破壊、工業中毒、職業病、傷害などの災害予防および環境の保全を目指して、これらの技術的諸問題を究明することを目的として種々の事業を行ってきており、その一環として1962年（昭和37年）から公式機関誌として、原著論文や特集・総説『安全工学』誌を年6回発行しています。

沿革	1957年7月 母体となる安全工学研究会が発足、1961年 安全工学協会と改称、2004年12月 特定非営利活動法人安全工学会として発足
事業	①会誌「安全工学」その他学術と書類の刊行、②セミナー・講習会・研究発表会などの開催、③調査・研究、④表彰・奨励、⑤その他目的達成に必要な事業
会員数	法人会員：維持会員 19社／賛助会員 67社 個人会員：普通会员 528名／学生会員 48名／シニア会員44名 （民間企業・研究所 45%、大学・教育機関 17%、独法・公立研究機関 10%、行政・公的機関 8%、学生 8%、その他 12%）
近年の特集 ・小特集企画	NATECH、人間工学と安全工学、水素利用技術の社会実装と安全、安全文化、ICTと安全をつなぐ架け橋、リスクコミュニケーション、安全教育 等

会員データ

【業種】

石油・化学・ガス各プラント、薬品、消火剤、防災・保安関連、研究・実験機器、IT・AI関連、各種製造、他

【職種】

研究・開発、製造・生産技術、設計、経営・管理、営業・企画、資材、その他

安全工学（年6回発行）

安全工学会の機関誌。本誌は、各種産業における火災、爆発、破壊、工業中毒、職業病、傷害などの災害予防および環境の保全を目指し、これらの技術的諸問題を究明することを目的とした事業の一環として発行しています。安全への提言、総説、論文、我が社の環境安全活動、事故・災害ニュース等を掲載しています。

媒体概要・広告掲載料金

体	裁	A4版（297mm×左右210mm）
発行部数		1,100部
発行日		偶数月15日
広告申込締切		前々月末日
広告原稿締切		前月1日
入稿形態		完全データ（出力見本添付）
広告有効寸法		1ページ：天地260mm×左右180mm 表4以外は、ブリード版（裁落とし版）も掲載可能
表2・モノクロ・1ページ		¥60,000
表3・モノクロ・1ページ		¥55,000
表4・カラー・1ページ		¥120,000
表4・モノクロ・1ページ		¥70,000
後付・モノクロ・1ページ		¥50,000

- 上記の料金に消費税は含まれておりません。
- 広告データの製作費は別途ご請求させていただきます。
- 表2、表3、表4の空き状況は、別途お問い合わせ下さい。

広告掲載のお問い合わせ・お申込み

株式会社 明報社

〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-4 友野本社ビル
 TEL(03)3546-1337 FAX(03)3546-6306
 E-mail info@meihosha.co.jp
 ホームページ http://www.meihosha.co.jp